

消 防 団

消 防 団 の 概 要

1. 消 防 団 の 組 織

消防団は、消防署とともに行政区域を単位として設置しており、札幌市消防団条例に基づき、10消防団・10本部・72分団、定員2,150人の構成をもって組織している。

〈構成図〉（令和7年4月1日現在）

市 長	中央消防団	1	本 部	13分団
	北 消 防 団	1	本 部	11分団
	東 消 防 団	1	本 部	10分団
	白石消防団	1	本 部	7分団
	厚別消防団	1	本 部	4分団
	豊平消防団	1	本 部	6分団
	清田消防団	1	本 部	4分団
	南 消 防 団	1	本 部	8分団
	西 消 防 団	1	本 部	5分団
	手稲消防団	1	本 部	4分団
	(10団)	(10本部)	(72分団)	

2. 消 防 団 の 事 務

消防団の事務は、消防局職員課が主管となり、さらに各消防署予防課庶務係において、消防団本部と連携をとり執行している。

令和6年度中における消防団事務の概要は、次のとおりである。

(1) 任免状況

157人が退職し、新たに133人を採用し、193人が昇任している。

(2) 表彰状況

消防功勞により叙勲 6 人、消防庁長官表彰 7 人、北海道知事表彰 133 人、日本消防協会会長表彰 32 人などを含め、総数 523 人、10 団体に対して表彰があった。

3. 消 防 団 の 活 動

消防団員は非常勤の地方公務員として、火災をはじめ、風水害など自然災害の有事における災害防除、さらには防火思想の普及を図るために火災予防運動など各種の活動を行っている。

(1) 災害及び予防活動等の出動状況

令和6年中における消防団の災害等出動は、火災・水災害273人、予防及び警戒4,621人となっている。

(2) 研修訓練等の状況

消防活動技術の向上を図るため、消防団業務計画を策定し、学科研修をはじめ各種災害を想定した訓練を実施し、延べ10,762人が出動した。

(3) その他の状況

消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具点検、消防水利調査等に延べ 12,234 人が出動した。

4. 札幌市10消防団連合協議会（平成17年4月1日設立）

全市的な消防団の施策を展開するため、各消防団相互の横断的な情報の共有及び各消防団管轄地域の地域実情に応じた消防団活動を実施し、これらを包括的に支援し、消防団本来の任務を達成するために設立された。

5. 消防団協力事業所表示制度（平成19年10月1日施行）

消防団と事業所の協力体制を促進するため、消防団に協力している事業所に対し、社会貢献の証として表示証を交付する制度を発足した。交付事業所数は令和7年4月1日現在49事業所となっている。

消防団員定員現員状況（令和7年4月1日現在）

（単位：人）

区	分	総 数	団 長	副団長	分団長 (本部長を含む)	副分団長 (副本部長を含む)	部 長	班 長	団 員
総数	定員	2,150	10	20	82	88	270	414	1,266
	現員	1,640	10	20	82	83	225	329	891
	(女性)	(413)	－	(2)	(1)	(13)	(46)	(102)	(249)
中央	定員	279	1	2	14	15	38	64	145
	現員	196	1	2	14	11	23	37	108
	(女性)	(43)	－	(1)	－	(1)	(3)	(10)	(28)
北	定員	298	1	2	12	13	39	61	170
	現員	229	1	2	12	13	38	48	115
	(女性)	(50)	－	－	－	(1)	(7)	(11)	(31)
東	定員	299	1	2	11	12	39	59	175
	現員	234	1	2	11	12	37	52	119
	(女性)	(51)	－	－	－	(1)	(7)	(9)	(34)
白石	定員	210	1	2	8	9	26	40	124
	現員	172	1	2	8	8	22	36	95
	(女性)	(47)	－	－	－	(1)	(6)	(13)	(27)
厚別	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	97	1	2	5	5	13	22	49
	(女性)	(29)	－	－	(1)	－	－	(7)	(21)
豊平	定員	210	1	2	7	8	25	37	130
	現員	141	1	2	7	8	16	31	76
	(女性)	(45)	－	(1)	－	(4)	(4)	(18)	(18)
清田	定員	130	1	2	5	5	15	23	79
	現員	101	1	2	5	5	13	18	57
	(女性)	(29)	－	－	－	(2)	(2)	(6)	(19)
南	定員	250	1	2	9	10	31	47	150
	現員	187	1	2	9	10	27	39	99
	(女性)	(49)	－	－	－	(1)	(9)	(13)	(26)
西	定員	200	1	2	6	6	24	34	127
	現員	176	1	2	6	6	20	26	115
	(女性)	(37)	－	－	－	－	(4)	(7)	(26)
手稲	定員	144	1	2	5	5	18	26	87
	現員	107	1	2	5	5	16	20	58
	(女性)	(33)	－	－	－	(2)	(4)	(8)	(19)

（注） 女性団員数は内数である。

消防団員任免状況（令和6年度中）

（単位：人）

区	分	総 数	中 央	北	東	白 石	厚 別	豊 平	清 田	南	西	手 稲
採	用	133	16	12	15	19	7	18	11	12	12	11
昇	任	193	21	28	35	19	4	10	23	15	23	15
退	職	157	19	33	16	16	9	16	12	11	17	8

消防団員表彰状況（令和6年度中）

（単位：人、団）

区 分	総 数	功労などの賞	永年勤続	優良消防団	退職消防団員
総 数	523	63	392	10	58
叙 勲	6	6	－	－	－
消 防 庁 長 官	7	－	7	－	－
知 事	133	7	126	－	－
市 長	187	－	119	10	58
団 長	10	10	－	－	－
1 0 団 連 会 長	1	1	－	－	－
日 本 消 防 協 会 長	32	17	15	－	－
北 海 道 消 防 協 会 長	147	22	125	－	－

消防団員出動状況（令和6年中）

（単位：回、人）

区 分	総 数		火災・水災害		研修・訓練		予防・警戒		そ の 他	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
総 数	7,366	27,890	149	273	2,163	10,762	1,139	4,621	3,915	12,234
中 央	936	2,319	19	26	522	995	3	17	392	1,281
北	1,021	4,196	22	39	235	1,183	323	1,338	441	1,636
東	989	4,064	11	27	220	1,695	220	863	538	1,479
白 石	780	2,923	25	52	197	1,202	109	388	449	1,281
厚 別	530	1,903	18	28	130	716	123	395	259	764
豊 平	461	1,612	6	7	126	573	65	196	264	836
清 田	547	1,912	2	2	145	873	58	178	342	859
南	933	3,407	30	62	254	1,292	108	386	541	1,667
西	592	3,444	14	27	160	1,221	85	665	333	1,531
手 稲	577	2,110	2	3	174	1,012	45	195	356	900

- （注） 1. 回数のうち、火災については出動した件数、他は団又は分団単位の出動回数である。
2. その他は、消防団会議、消防団事務、出初式、機械器具特別点検、消防水利調査などである。
3. 人員は、延べ人員である。

研修・訓練実施状況（令和 6 年中）

（単位：人）

区 分		目 的	人 員
所属研修	実科・学科研修	団員としての必要な知識、技術を習得し 資質の向上を図る。	1,135
学校研修	各 種 教 育 課 程	火災予防及び消火活動上必要な基礎知識 の習得並びに、消防団の運営に必要な規 律、災害活動要領及び安全管理に関する 技能の習得を図る。	114
所属訓練	基本・応用訓練等	団員として必要な知識・技術を習得し 災害対応能力の向上を図る。	4,517
	防 災 訓 練	防災に関する知識技能の習得及び有事即 応の防災体制の確立と防災思想の普及を 図る。	499
総合訓練	各消防団総合訓練等	団員の体力気力の鍛練と消防技術の向上 を図る。	3,353
そ の 他			1,144
合 計			10,762

（注） 1. 実施人数は、延べ人数である。

2. その他は、札幌市 10 消防団連合協議会事業計画外に行われた各団独自の研修・訓練等
（訓練礼式・ポンプ操作等）である。

年齢別消防団員数（令和7年4月1日現在）

（単位：人）

区 分	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
総 数	1,640 (413)	10 —	20 (2)	82 (1)	83 (13)	225 (46)	329 (102)	891 (249)
20 歳 未 満	11 (6)	—	—	—	—	—	—	11 (6)
20 ～ 24	72 (14)	—	—	—	—	—	—	72 (14)
25 ～ 29	34 (9)	—	—	—	—	—	4	30 (9)
30 ～ 34	41 (7)	—	—	—	—	—	7 (1)	34 (6)
35 ～ 39	90 (20)	—	—	—	—	2	11 (2)	77 (18)
40 ～ 44	140 (38)	—	—	—	2 (1)	4	20 (2)	114 (35)
45 ～ 49	226 (62)	—	—	2	4 (2)	17 (2)	43 (11)	160 (47)
50 ～ 54	315 (92)	—	—	7	8 (1)	42 (7)	89 (33)	169 (51)
55 ～ 59	225 (57)	—	—	6	13 (2)	48 (8)	55 (18)	103 (29)
60 ～ 64	216 (49)	1	6 (1)	23	27 (5)	44 (6)	45 (14)	70 (23)
65 歳 以 上	270 (59)	9	14 (1)	44 (1)	29 (2)	68 (23)	55 (21)	51 (11)

（注）（ ）は、女性団員数で内数

勤続年数別消防団員数（令和7年4月1日現在）

（単位：人）

区 分	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
総 数	1,640 (413)	10 —	20 (2)	82 (1)	83 (13)	225 (46)	329 (102)	891 (249)
1 年 未 満	120 (42)	—	—	—	—	—	—	120 (42)
1 ～ 4	339 (107)	—	—	1	1	2 (1)	4 (1)	331 (105)
5 ～ 9	284 (81)	—	—	1	1 (1)	6	61 (23)	215 (57)
10 ～ 14	248 (59)	—	—	2	3 (2)	26 (5)	100 (26)	117 (26)
15 ～ 19	231 (60)	—	1 (1)	7	12	57 (12)	95 (32)	59 (15)
20 ～ 24	160 (32)	—	—	12	22 (4)	58 (11)	40 (14)	28 (3)
25 ～ 29	115 (27)	—	3	19	17 (5)	45 (15)	18 (6)	13 (1)
30 ～ 34	65 (5)	2	6 (1)	19 (1)	16 (1)	14 (2)	5	3 —
35 ～ 39	39 —	3	6	12	3	11	3	1 —
40 ～ 44	32 —	4	4	5	7	5	3	4 —
45 年 以 上	7 —	1	—	4	1	1	—	— —

（注）（ ）は、女性団員数で内数

職業別消防団員数（令和7年4月1日現在）

(単位：人)

区 分	総数	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
総数	1,640	196	229	234	172	97	141	101	187	176	107
サービス業(他に分類されないもの)	184	24	24	35	23	8	14	11	22	14	9
医療、福祉	132	18	19	14	13	10	9	10	7	23	9
運輸業、郵便業	76	7	6	10	11	7	8	1	11	9	6
卸売業、小売業	223	29	21	32	14	10	26	13	31	34	13
学術研究、専門・技術サービス業	46	9	5	5	6	1	4	5	4	6	1
教育、学習支援業	35	7	5	4	4	1	2	3	2	5	2
金融業、保険業	62	18	8	5	8	3	2	2	11	2	3
建設業	217	8	45	36	20	8	14	16	23	27	20
公務(他に分類されるものを除く)	35	3	7	3	3	4	1	6	2	3	3
鉱業、採石業、砂利採取業	2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1
宿泊業、飲食サービス業	60	8	7	7	1	3	5	4	17	6	2
情報通信業	25	3	7	1	2		4	3	1	3	1
生活関連サービス業、娯楽業	69	10	7	8	7	6	6	6	9	7	3
製造業	79	11	6	14	8	7	3	5	4	10	11
電気・ガス・熱供給・水道業	26	3	7	4	1	1		2	2	3	3
農業、林業	51	－	6	19	7	2	1	1	13	1	1
不動産業、物品賃貸業	77	14	12	16	12	5	7	2	5	4	－
複合サービス事業	5	1	3	－	－	－	－	－	1	－	－
分類不能の産業	20	7	2	2	5	1	1	－	－	－	2
その他（学生・主婦など）	216	16	31	19	27	20	34	11	22	19	17

（注） 職業は、統計調査に用いる産業分類を定める政令（昭和26年政令第127号）に基づく産業分類による。

消防団施設・機器配置状況（令和7年4月1日現在）

区 分	器 具 置 場 数	軽可搬消防ポンプ台数	車 両 台 数
総 数	73	80	4
中 央	11	14	－
北	15	16	－
東	10	11	1
白 石	7	7	－
厚 別	4	4	－
豊 平	5	6	－
清 田	4	4	1
南	8	9	1
西	5	5	－
手 稲	4	4	1

（注） 器具置場数には、署所内配置も含む。